

当院における NST 活動状況と工夫

済生会松阪総合病院 NST 管理栄養課¹⁾ 薬剤部²⁾ 看護部³⁾ 内科⁴⁾
松本由紀¹⁾ 内田瑞穂¹⁾ 佐久間隆幸²⁾ 川添史²⁾ 大矢桂²⁾ 見並ひとみ³⁾
中井佐奈³⁾ 山中理恵³⁾ 橋本章⁴⁾ 清水敦哉⁴⁾

【目的】当院は平成 23 年 7 月より NST 加算を算定している。NST 加算を算定するにあたり、専任看護師の回診時間確保が問題となった。今回、専任看護師の業務の見直しと回診時間確保のために看護部に働きかけを行い、NST 活動の活性化に取り組んできたため報告する。【方法】取り組み：①平成 23 年 4 月の時点で NST 実施研修を終了した看護師は 5 名であった。算定開始に向け、各病棟 1 名は実施研修を終了できるよう働きかけた。②各病棟のリンク Ns が回診に必ずつくことが困難であったため、専任看護師で回診当番を決め、看護部長と各病棟課長にその必要性を理解してもらい NST 業務時間を確保した。③回診当番看護師は情報収集→回診→カンファレンス→記録までを一連の業務とした。【結果】成果：①NST 実施研修終了者は新たに 7 名加わり合計 12 名の NST 専任看護師を登録することができた。②回診当番の専任看護師は 13 時半～17 時まで NST 業務時間として確保することができた。③所属病棟以外も回診するため、各病態における栄養療法について知識が深まりレベルアップに繋がったと思われた。また NST 回診延件数も平成 23 年度 647 件、24 年度 760 件、25 年度 1026 件と徐々に増加傾向であり、これは専任看護師が NST の必要性を感じ、主治医や病棟スタッフに訴えた結果とも考えられる。【考察および結論】専任看護師の回診時間を確保し業務の見直しを行うことで、看護師を中心に栄養療法の必要性や重要性が病院に広く浸透し、NST 活動の活性化に繋がったと思われる。